

相原町大戸町内会説明会 会議要旨

開催日時：2013年5月15日(水) 19時00分～20時30分

開催場所：大戸公会堂

参加者：30名

《次第》

1. 新たな「ごみの資源化施設」について
2. 建設予定地の選定について
* 「相原エリア」(相原町3881番地) 検討概要の説明
3. ごみの減量化・資源化協力についてのPR
これまでの懇談会で頂いた質問・意見の概要説明
4. 質疑応答 19:30～

〈配布資料〉

資料1：新たな「ごみの資源化施設」の建設地周辺にお住まいの皆さんと話し合いを進めます。

資料2：ごみ資源化施設建設NEWS (vol.4)

資料3：ごみ資源化施設建設NEWS (vol.5)

質疑応答

(市民)

建設地について、どこを入り口とする予定か。

(町田市)

詳細については決定しておりませんが、現段階では、町田街道から家政学園入り口の交差点を曲がり、トンネルの手前付近を入り口にする予定です。

(市民)

町田市では、過去に廃プラスチック処理施設建設の計画が失敗しているが、その原因は何か。また、今回は過去の失敗を踏まえて計画を進めているのか。

(町田市)

過去の廃プラスチック処理施設計画は行政が主導で行い、住民の方々への説明が事後報告になってしまったことが失敗の原因です。今回の計画では、過去の失敗を踏まえ、計画段階から市民の方々立会いのもとプラスチック圧縮実験を行うとともに、市民委員を交えた施設整備の検討委員会を組織し、市民意見交

換会を行うなど、市民の方々と一緒に計画を進めてきております。

(市民)

相原エリアに資源ごみ処理施設を建設するにあたり、町田市として、どのような点に留意すべきと考えているのか。

(町田市)

収集車が増加するため、収集ルートや収集エリア等を検討し、渋滞の原因にならないよう留意しなければならないと考えております。また、相原エリアには通学路もあるため、歩道にガードレールを設置するなど、お子様の安全についても留意して計画を進めます。

(市民)

現在、計画している資源ごみ処理施設の処理規模では、町田市のごみを処理しきれないのではないかと。

(町田市)

計画している処理規模で、問題はないと考えております。

(市民)

建設用地の取得について、地権者との交渉はどの程度進んでいるのか。

(町田市)

建設地の地権者の方は6名おり、そのうち1名の地権者の方と、土地の測量と地質調査の実施について書面で約束をした段階です。残りの5名の方々に対しても、測量と地質調査をお願いしている段階です。

(市民)

過去の廃プラスチック処理施設計画の失敗の原因は、行政主導で計画を進めたためであり、今回はその失敗も踏まえて計画を進めているということだが、失敗の原因は本当にそれだけか。相原地区に建設を進めた後で、実は他にも失敗の原因があったということにはならないか。

(町田市)

先ほどの説明のとおり、過去の計画の失敗原因は行政主導で計画を進め、住民の方々への説明が事後報告になってしまったことにあります。加えて説明いたしますと、過去の計画では、周辺住民の方々に計画内容が誤って伝わっており、廃プラスチック処理施設でごみを焼却すると認識されておりました。実際には、ごみを焼却する計画はありませんでしたが、このように認識されてしまったのも、市の説明が不十分であったためと考えております。このことか

ら、今回は計画段階から市民の方を交えて計画を進めております。なお、相原エリアに建設予定の資源ごみ処理施設では、ごみの焼却は行いません。

(市民)

建設地は地盤が弱いですが、そのことは考慮しているのか。

(町田市)

現在、建設地の地歴を調べており、今後、地盤調査も行う予定です。

(市民)

施設はできるだけ住宅地から離して建設をして欲しい。また、多数の市民はごみ処理施設についての知識はない。設計途中の段階でも、完成予想図を見せるなどの情報提供をするべきである。

(町田市)

施設についてはできるだけ住宅地や学校から離して建設をする予定です。ただし、敷地が限られているため、どの程度離せるかは今後検討します。また、設計途中でも、随時、情報提供は行う予定です。今後は、周辺住民の方を交えた地区連絡会を立ち上げ、そのような意見を踏まえて検討し、計画を進めていきます。

(市民)

プラスチックごみの収集に関しては、曜日によって道路の混雑状況が異なると思うが、そのようなことも踏まえ、どのような収集方法を予定しているのか。

(町田市)

詳細についてはまだ決まっておきませんが、曜日ごとの道路の混雑状況は市としてもある程度把握しておりますので、そのことを踏まえ、収集日や収集エリア等の設定を行います。なお、今後の地区連絡会でも検討を行う予定です。

(市民)

資源ごみ処理施設で集めたごみは、最終的にはエコプラザ多摩で処理をするのか。

(町田市)

エコプラザ多摩は多摩市のごみを処理する施設であり、町田市のごみは処理いたしません。

(市民)

資源ごみ処理施設で圧縮梱包をしたプラスチックごみは、最終的にはどのよう

に処理されるのか。

(町田市)

プラスチックごみについては、「容器包装リサイクル法」という法律があり、市ではなく「日本容器リサイクル協会」という財団法人が搬出先のリサイクル業者を選び、リサイクルの処理を任せることになっております。

(市民)

建設地のすぐ近くに学校があるが、建設地の選定にあたり、そのようなことは考慮しなかったのか。工事中の騒音、振動なども考えると、学校の近くというのは建設地として適していないのではないか。

(町田市)

選定については、最初は市内全域から検討を始め、検討委員会で3つの選定ステップにより候補地を絞り、その中から市として土地所有・アクセス・分散化の視点で建設地を選びました。最終的に候補地が絞られる中で、もちろん、学校の近くということに懸念の声も上がりました。しかし、大前提として、危険な施設ではなく安全な施設を建設するということがあります。危険な施設であれば、学校の近くに建設することはできませんが、建設予定の施設は安全な施設であるため、十分に説明すれば住民の方々に理解していただけるだろうという結論に至り、選定を行いました。工事中の騒音、振動の問題については、できる限りの方法を検討し、クリアしていきたいと考えております。また、学校の近くということもあり、安全性の確保はもちろんのこと、環境学習の場としても活用したいと考えております。

(市民)

取り付け道路の問題と雨水排水の問題に考慮して今後の計画を進めるべきである。

(町田市)

承りました。

(市民)

施設ができることにより、1日あたりの収集車の台数はどの程度となるのか。

(町田市)

収集エリアがまだ決まっていないため明確な回答はできませんが、1日あたり10台~20台程度を想定しております。

(市民)

圏央道が開通したら、町田街道の交通量に変化があると思われるが、そのようなことも考慮しているのか。

(町田市)

圏央道については、2014年度中に高尾山 IC と相模原愛川 IC の間が開通すると聞いております。この間が開通することにより中央道と東名高速が連絡し、現在終点となっている高尾山 IC の交通量は少なくなると想定されています。加えて、2015年度には新しく相模原 IC ができるため、さらに交通量は減少することです。また、町田街道の渋滞緩和のため、大戸踏み切りの立体化が都市計画決定されています。

(市民)

大戸踏み切りの立体化は、ごみの資源化施設の稼働開始に間に合うのか。

(町田市)

大戸踏み切りの立体化は、現在、都市計画決定をした段階で順次調整を進めています。また、相模原市でも隣接する道路をアンダーパスで横浜線を通す工事を現在進めており、複数のルート活用を検討に入れる予定としております。

(市民)

環境アセスメントではどのようなことをするのか。自然環境の調査はやらないのか。

(町田市)

施設を建設することで、建設前に比べ、環境にどの程度影響があるのかを調べます。調査項目としては、騒音、排ガス、排水などです。また、野鳥の生息など自然環境についても配慮します。調査期間中には調査内容を周辺住民の方々にもご覧いただき、意見をいただく場も設けます。調査結果は東京都に提出し、改善が必要な項目については改善を行います。

(市民)

環境アセスメントとは、第三者機関に「計画を進めても環境に影響はない」というお墨付きをもらうだけの形式的なものという印象があるが、もし、環境に影響があると指摘された場合は、計画を中止するのか。

(町田市)

環境アセスメントは、方法書、評価書と段階を踏んで公告し、広く意見を取り入れ、すべて手続きを公表して進める仕組みをとっており、形式的なものではありません。そして、環境への影響について指摘された項目については、改善を行います。また、環境アセスメントについても、地区連絡会と連携を図り、

実施していきます。

(市民)

概略設計と実施詳細設計は何が違うのか。

(町田市)

環境アセスメントを実施するために、どのような建物を建設するかを決めなくてはならないので、そのために概略設計を行います。一方、実施詳細設計では、環境アセスメントの結果を必要に応じて施設内容に反映させること、設備事業者によって配置する設備の規格が異なるため決定後に設計の変更を行うことなどを行います。

(市民)

地区連絡会の参加人数は決まっているのか。

(町田市)

明確な人数についてはまだ決めておりません。地域の状況等を踏まえ、一番良い参加人数を決めたいと考えておりますが、数十人の方が参加ということではなく、10人以下の参加と想定しております。

(市民)

地区連絡会に参加したい場合は町会長に言えばいいのか。

(町田市)

よろしいと思いますが、あくまで参加者は市で決めるのではなく、地域の住民の方々に決めていただくこととなります。

(市民)

環境アセスメントは、建設にあたっての課題を整理し、事前に考え方を提示することが役目だと思われる。このことについては、市はどのように考えているのか。

(町田市)

建設にあたっての課題については、建設地ごとに異なると思います。地区連絡会を通じ、調査項目についての意見をいただき、検討をしていきたいと考えております。

(市民)

本日の質疑応答の内容を、説明会に来ることのできなかつた人に知らせることはできないか。

(町田市)

質疑応答に関しては議事録を作成し、町内会にお渡しします。また、町田市ホームページにも掲載し、多くの方にご覧いただけるようにします。

(市民)

周辺住民の中には、まだ建設計画を知らない人もいます。もっと多くの住民に周知できるように工夫すべきである。

(町田市)

承りました。

(市民)

地区連絡会は傍聴可能なのか。

(町田市)

傍聴可能です。